

2023年6月18日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第66巻第11号(通算3343号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

かみさまがすべてのひとと共におられる
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せいれいこうりんせつ
聖霊降臨節
だい しゅじつれいはい
第4主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜん そ う もくとう
前 奏 黙 禱

まね ことば しんめいき
招きの詞 申命記

しやう せつ
8章 11節

さんび か ばん な ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-524番「われら名により」(©著作権消滅)

せい し ょ ふくいんしよ
聖 書 ルカによる福音書 8章 40-56節

いの
お 祈 り

さんび か ばん めぐ きやうだんさんびかいいんかい
賛美歌 21-451番「くすしきみ恵み」(©教団讚美歌委員会)

しんらい あゆ お うしだ ただし ぼくし
メッセージ「信頼をもって歩みを起こす」 牛田 匡 牧師

さんび か ばん あい かみ きやうだんさんびかいいんかい
賛美歌 21-454番「愛する神にのみ」(©教団讚美歌委員会)

しゅ いの ばん てん ちち きやうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 62番「天にいます わたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献 げ 物 (*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ふく うしだ ただし ぼくし
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん きやうだんさんびかいいんかい
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほう こく ページ さんしやう
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

まね ^{ことば} 招きの詞 申命記 8章 11節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

あなたの神、主を忘れないようにあなたは注意し、今日あなたに命じる ^{いまし}戒めと法と ^{おきて}掟とを守りなさい。

聖書 ルカによる福音書 8章 40-56節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁴⁰ イエスが帰って来られると、群衆は喜んで迎えた。皆がイエスを待ちわびていたからである。⁴¹ するとそこに、ヤイロと言う人が来た。この人は会堂長であった。彼はイエスの足元にひれ伏して、自分の家に来てくださるようにと願った。⁴² 十二歳ぐらいの一人娘がいたが、死にかけていたのである。

イエスが行かれる途中、群衆が周りに押し寄せて来た。⁴³ ここに、十二年この^{かた}方、出血が止まらない女がいた。医者に全財産を使い果たしたが、誰にも治してもらえなかった。⁴⁴ この女が後ろから近寄って、イエスの ^{ころも}衣の ^{すそ}裾に触れると、たちまち出血が止まった。⁴⁵ イエスは、「私に触れたのは誰か」と言われた。皆自分ではないと言ったので、ペトロが、「先生、群衆が取り巻いて、ひしめき合っているのです」と言った。⁴⁶ しかし、イエスは、「誰かが私に触れた。私から力が出て行ったのを感じたのだ」と言われた。⁴⁷ 女は隠しきれないと知って、^{ふる}震えながら進み出てひれ伏し、イエスに触れた理由とたちまち癒やされた次第とを、民全員の前で話した。⁴⁸ イエスは言われた。「娘よ、あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい。」

⁴⁹ イエスがまだ話しておられるときに、会堂長の家から人が来て言った。「お嬢さんは亡くなられました。この上、先生を ^{わずら}煩わすことはありません。」⁵⁰ イエスは、これを聞いて会堂長に言われた。「恐れることはない。ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われる。」⁵¹ 家に着くと、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、それに子どもの父母のほかには、誰も一緒に入ることをお許しにならなかった。⁵² 人々は皆、娘のために泣き悲しんでいた。イエスは言われた。「泣かなくてもよい。娘は死んだのではない。眠っているのだ。」⁵³ 人々は、娘が死んだことを知っていたので、イエスを ^{あざわら}嘲笑った。⁵⁴ イエスは娘の手を取って、「子よ、起きなさい」と呼びかけられた。⁵⁵ すると、^{れい}霊が戻って、娘はすぐに起き上がった。イエスは、何か食べ物を与えるように ^{さしず}指図をされた。⁵⁶ 両親は非常に驚いた。イエスはこの出来事を誰にも話さないようにとお命じになった。

《先週のメッセージより》6月11日 教会創立記念礼拝

「捕まって自由となる」より

水谷憲牧師

聖書 使徒言行録 2章 37-47節

「クリスチャンになる」ということは、世間的にはどうも自ら不自由になることを選択するようなイメージがあるのかもしれない。本当にそうなら私だって嫌だし、クリスチャン人口も増えるわけがないだろう。もう少し楽しげにクリスチャンライフを送るべきか。

ペンテコステの日にペトロが人々に向かって語った「あなた方が十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです」という話。人々はこれを聞いて「大いに心を打たれた」というが、これは「強く心を刺された」とも訳される。「グサー！」このペトロの言葉は私たちに向けられたものでもある。誰かを押さえつけ、またないがしろにし、あるいは誰かの痛みに目をつむってしまった経験。その「誰か」とは、別の姿をとって私たちの前に立つキリストだったかもしれないのに。イエスを見殺しにしたのは私たちなのだ。そしてペトロは「悔い改めなさい」と言う。「悔い改める」とは「これまでの生き方を変える」ということ。洗礼はその延長上。これまでのしょーもない自分から、「新しい自分に生まれ変わりたい！」という積極的な決意表明。新しいいのちをいただき、本当の自由を教えていただくのだからちっとも窮屈ではない。

「信者たちは全ての物を共有にし、神殿に参り、一緒に食事をし、神を賛美して、民衆全体から好意をよせられた」ともある。「物を共有する」とは、相手を思いやるということ。「神殿に参り、神を賛美する」とは、感謝する心。私たちに与えられた福音を、私たちがそうやって分かち合い広げてゆく中で、人はひきつけられ、イエスに従う私たちの群れも神の国もきっと広がって行くはずなのだ。キリスト教界でも残念ながら、不自由な構造はまだあるものの、私たちはイエス・キリストを通じて神に捕らえられることによって、自分を縛っていた様々な囚われから解放されて自由になれるはずなのだ。神の私たちに對するメッセージを聖書に聴くこと、そして相互の交わり、食事を共にすること、神様に祈ることなどを大事にしていきながら、自由に生きる私たちの姿を見て「私もイエス様について行ってあの人みたいになりたいな」と、子どもたちにも思ってもらえるような人になっていきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



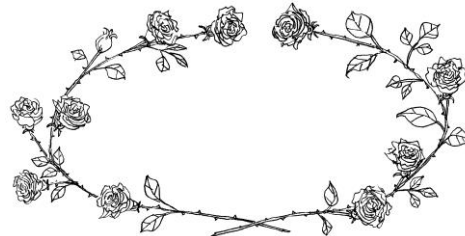
◎ 先週の報告 (6月11日)

礼拝出席 大人7名 献金 大人7,000円

中継動画再生数5回

感謝

昨日6月17日(土)、釜ヶ崎・いこい食堂に食材提供をしている大浦農園(和歌山県かつらぎ町)に「縁農」に行ってきました。参加者は子ども7人、大人5人で、梅干し用の梅の収穫と、じゃがいもの収穫のお手伝いをさせていただきました。どうもありがとうございました。



◎次週 2023年6月25日(日)

招きの詞 詩編 86編 1-2節

聖書 創世記 21章 14-21節

メッセージ「彼女の涙」岡嶋千宙伝道師

賛美歌 21-205 (©教団讃美歌委)、21-492 (©教団讃美歌委)、21-475 (©P.D.)

礼拝の中で6月(と今年度6月まで)の誕生者祝福式を行います。

礼拝後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症は、「季節性インフルエンザ」などと同じ感染症の分類になりました。しかし、ウイルス自体が無くなったわけではありませんので、それぞれの方の体調等に合わせて、引き続き感染症予防には留意しながら、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。中継録画のメッセージ部分のみをカットした動画を、YouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・「慰霊の日」6月23日(金)には、大阪市北区民センター(扇町駅・天満駅下車、徒歩3分・北区役所隣)にて、「沖縄と共に戦争に反対する6・23平和の集い～軍隊は民衆を守らない～」が開催されます。講師は前泊博盛さん(沖縄国際大学教授)で「島々を戦場にさせない」という講演の他、沖縄からのビデオメッセージもあります。資料代は500円ですが、金銭的に厳しい方は応相談ですので、お申し出ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
6/25	岡嶋伝道師	誕生者祝福式 おにぎり支援
7/2	牛田牧師	ユウカリスト 教会を考える会
7/9	水谷牧師	部落解放祈りの日 14時～ 服部墓地墓前礼拝
7/16	牛田牧師	

**沖縄と共に戦争に反対する
6・23平和の集い**
～軍隊は民衆を守らない～

日時 2023年6月23日(金) 慰霊の日 18:00開場 18:30開会
場所 大阪市北区民センター ホール
地下鉄堺筋線「扇町」駅 2号B出口北へ3分・JR環状線「天満」駅 西へ3分 北区役所隣

講師 前泊 博盛 さん (沖縄国際大学教授)

プログラム

- 前泊さん講演(リモート) 演題「島々を戦場にさせない」
- 慰霊の日・沖縄からのビデオメッセージ
- 音楽

資料代 500円(金銭的に厳しい方はお申し出ください)

主催 沖縄と共に戦争に反対する平和の集い実行委員会
実行委員長:森口あおい(日本キリスト教団牧師)
連絡先 TEL 090-6766-0363
MAIL heiwantsudoj2023@gmail.com